

Panasonic

インテグレートッド
CD・MD・DSP レシーバー

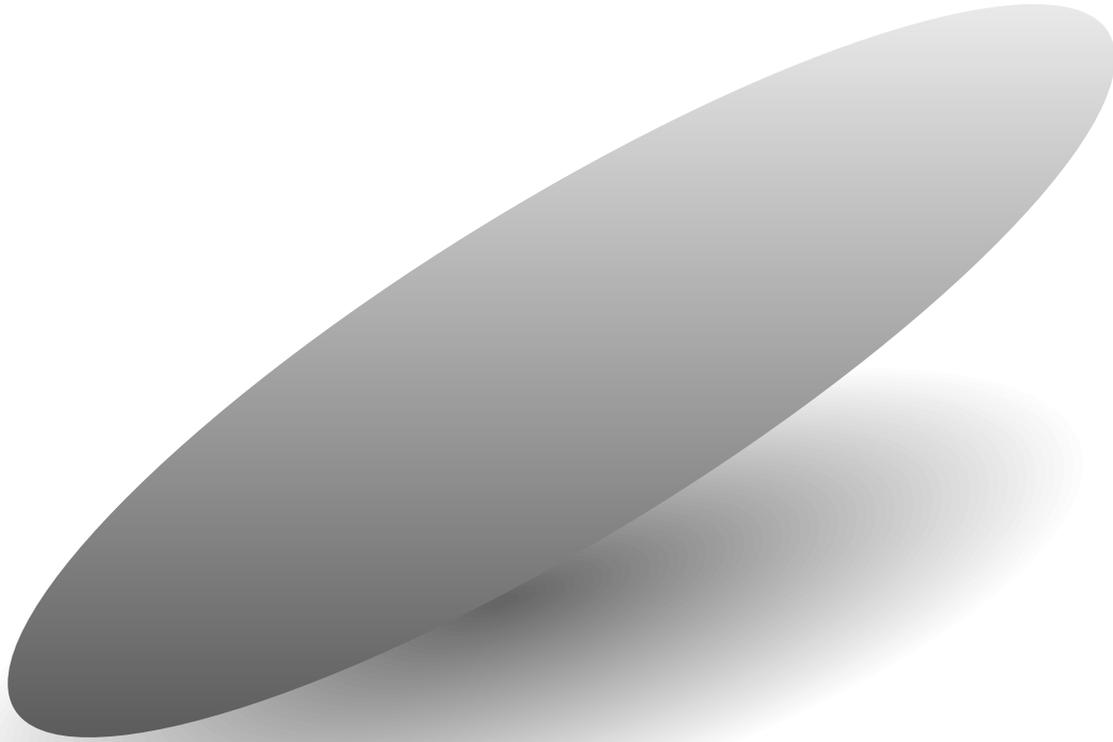
インテグレートッド
CD・カセット・DSP レシーバー

取扱説明書

品番

CQ-VX404MD

CQ-VX303D



保証書別添付

この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保存し、必要なときにお読みください。

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、
販売店からお受け取りください。

CAR AUDIO
COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

**Mini
Disc**

このたびは、パナソニックカーオーディオインテグレートCD・MD・DSP レシーバー CQ-VX404MD / インテグレートCD・カセット・DSP レシーバーCQ-VX303D をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

特長

2DIN DSP内蔵 CD・MD 一体機

VX404MD (CD, MD, FM/AM, 37 W x 4 ch, DSP/EQ)

2DIN DSP内蔵 CD・カセット 一体機

VX303D (CD, カセット, FM/AM, 37 W x 4 ch, DSP/EQ)

D.J (デジタルジョイスティック) エンコーダー

「押す」「回す」「倒す」の3つの動作ができ、いろいろな機能の切り替えや調整が簡単に操作できます。

昼・夜で違った顔を演出

- 透過メタリック塗装パネル使用で、昼・夜の表情が変わります。
- ブラックライトをあてると、パネルが光ります。

DSP/EQ内蔵 7バンドスペアナ表示

TV音声入力付き (後面AUX入力)

お願い

ブラックライトをご使用になるときは、本機から20 cm以上離して取り付けてください。ラジオのノイズや誤動作の原因になります。

ご使用前に

- 本説明書は、CQ-VX404MD および CQ-VX303D の取り扱いについて説明しています。機能には相違がありますので、お買い上げの機種をよくご確認ください。
- 操作は、本体の操作パネルで説明しています。操作パネルとリモコン(別売)はボタンに相違がありますが、特にことわりのない限り、操作パネルと同様に操作してください。

もくじ

はじめに

安全上のご注意	5
付属品	7
リモコン(別売)の準備	7

各部のなまえ

操作パネル(前面)部	8
内部パネル部	10
ディスプレイ部	11
後面部	12
リモコン(別売)	13

使いかた

共通操作

電源を入れる	14
電源を切る	14
聴きたいサウンドソース(音源)を選ぶ	14
音量を調整する	15
時計を調整する	16
時計を表示する	16
表示を切り替える	17
電源が切れているときに時計を表示する	17

ラジオを聴く

ラジオ(TUNER)の通常表示	18
サウンドソースをラジオ(TUNER)にする	19
バンドを選ぶ	19
放送局を選ぶ	19
放送局をメモリーする	20
メモリーした放送局を呼び出す	20
表示を切り替える	21

CDを聴く

CDの通常表示	22
CDを挿入する	23
サウンドソースをCDにする	23
聴きたい曲を選ぶ	23
早戻し/早送りをする	23
自動的に曲を選ばせて聴く	24
聴きたい曲を探す	24
同じ曲を繰り返し聴く	24
表示を切り替える	25
CDを取り出す	25

MDを聴く VX404MDのみ

MDの通常表示	26
MDを挿入する	27
サウンドソースをMDにする	27
聴きたい曲を選ぶ	27
早戻し/早送りをする	27
自動的に曲を選ばせて聴く	28
聴きたい曲を探す	28
同じ曲を繰り返し聴く	28
MDのタイトルを表示する(表示を切り替える)	29
MDを取り出す	29

カセットテープを聴く VX303Dのみ

カセットテープ(TAPE)の通常表示	30
カセットテープを挿入する	30
サウンドソースをカセットテープ(TAPE)にする	31
演奏面を切り替える	31
巻戻し/早送りをする	31
聴きたい曲を頭出しする	31
無音部をとばしながら聴く	32
同じ曲を繰り返し聴く	32
メタルテープを聴く	32
ドルビーB NRテープを聴く	33
表示を切り替える	33
カセットテープを取り出す	33

チェンジャーでCD/MDを聴く

チェンジャー(CHANGER)の通常表示	34
サウンドソースをチェンジャー(CHANGER)にする	34
聴きたいディスクを選ぶ	35
聴きたい曲を選ぶ	35
早戻し/早送りをする	35
自動的に曲を選ばせて聴く	35
聴きたい曲やディスクを探す	36
同じ曲やディスクを繰り返し聴く	36
MDのタイトルを表示する(表示を切り替える)	37

はじめに

使いかた

設定・その他

必要なときに

もくじ (つづき)

設定・その他

サウンド設定

サウンドコントロールモードにする	38
サウンド設定の機能を選ぶ	38
● ヒューマンイコライザー	39
● グラフィックイコライザー	40
音質を周波数ごとに調整する / 調整した音質をメモリーする / 音質のメモリーを呼び出す	
● 前後左右の音量バランスを調整する	42
● 乗車位置に合わせた音像にする	42
● リヤースピーカーをサブウーファー専用出力にする	43
● 低音域を増強する	44
音場を再現する	45

便利な機能

スペアナ表示を切り替える	46	一時的に音量を下げる	48
スペアナ表示をアレンジする	47	交通情報を受信する	48
ディスプレイの明るさを設定する	47	外部機器の音声を聴く	49

その他の設定

機能コントロールモードにする	50	● スペアナ表示の動きの速さを設定する	52
設定する機能を選ぶ	50	● MUTE (ATT) ボタンの機能を設定する	52
● ボタン操作を音で確認する	51	● MDタイトルをスクロールさせる	53
● DJ エンコーダーを回す動作で		● サウンドソース切り替え時の	
操作できる機能を設定する	51	外部入力の有無を設定する	53
		● HEQの音質調整モードを設定する	54

必要なときに

お手入れのしかた	55	万一、異常動作をした場合	61
CD (コンパクトディスク) の取り扱い	55	配線のしかた	62
MD (ミニディスク) の取り扱い	56	取り付けのしかた	64
カセットテープの取り扱い	56	仕様	66
故障についてのお願ひ	57	アフターサービスについて	67
故障と思われる前に	57		

安全上のご注意

必ずお守りください

はじめに

お使いになる人や他の人への危害，財産への損害を未然に防止するため，必ずお守りいただくことを，次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を，次の表示で区分し，説明しています。



警告

この表示の欄は，「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は，「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を，次の絵表示で区分し，説明しています。
(下記は，絵表示の一例です。)



このような絵表示は，してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は，必ず実行していただく「強制」内容です。



警告

運転者は走行中に操作をしない



禁止

走行中に操作をすると，前方不注意による交通事故の原因になります。
操作は安全な場所に停車して行ってください。

安全上のご注意 (つづき)

必ずお守りください

⚠ 注意

取り付け、配線は専門技術者に依頼する



本機の実り付け、配線には専門技術と経験が必要です。安全のため、お買上げの販売店にご依頼ください。

分解や改造はしない



分解禁止

本機を分解したり改造すると、発煙・発火の原因になります。

故障や異常のまま使用しない



禁止

音が出ない、煙が出る、変な匂いがする等の異常な状態で使用すると、発火の原因になります。直ちに使用を中止してお買上げの販売店にご相談ください。

決められたヒューズを使用する



ヒューズ交換は必ず表示された規定のヒューズをご使用ください。規定以外のヒューズを使用すると、発煙・発火の原因になります。

可動部に手・指や異物を入れない



禁止

可動部に手・指や異物を入れると、けがや故障の原因になります。

挿入口に手・指や異物を入れない



禁止

挿入口に手・指や異物を入れると、けがや発煙・発火、故障の原因になります。

付属品

1. 取扱説明書.....	1
2. 取り付け用部品.....	一式 (P.64 参照)
3. 電源コネクタ.....	1
4. 保証書.....	1
5. お客様ご相談窓口一覧表.....	1

リモコン (別売) の準備

電池の入れかた

1. 電池ケースを出す。

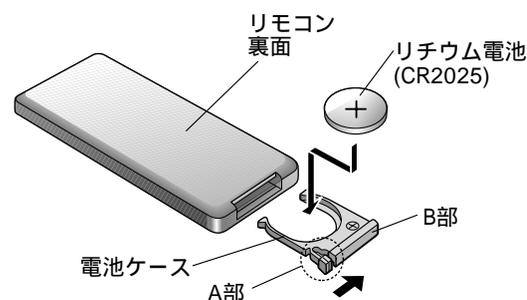
A部を矢印の方向に押しながら、B部を持って引っ張り出してください。

2. リチウム電池(CR2025)を入れる。

(+)(-)を間違えないように右図どおりに入れてください。

3. 電池ケースを入れる。

最後まできちんと入れてください。



使用する電池

- 使用電池 : パナソニック リチウム電池 (CR2025)
- 電池の寿命 : 通常の使用状態で約6ヶ月使用できます。(常温時)

警告

リチウム電池は正しく使用する



- (1) 充電, ショート, 分解, 変形, 加熱, 火に入れるなどしないでください。発火・発熱・破裂の原因になります。
- (2) 電池は幼児の手の届かない所に置いてください。万一飲み込んだ場合には、直ちに医師と相談してください。
- (3) 電池を廃棄する場合および保存する場合には、テープなどで絶縁してください。他の金属や電池とまじると、発火・破裂の原因になります。

注意



電池の(+)(-)を正しく入れる

電池の使いかたを間違えますと、液漏れや破裂の恐れがあり、けがや故障などの原因になります。(+)(-)を正しく入れてください。